

ようこそ観音寺へ

7月14日～27日

ことしも市内の家庭でホームステイを通じて交流を深めようと、姉妹都市米国アップルトン市からアレクサンドラ・ハンセンさんが来観し、日本の生活を楽しましました。

観音寺第一高等学校の訪問では、生徒と一緒に書道を体験。筆遣いを教わりながら、うちわに見事な「夏」の一文字を書き上げました。また、生徒がジェスチャーを交えながら英語で自己紹介やゲームをして、交流を深めていくと、お互いに笑顔が増え、楽しそうに打ち解け合っていました。

「訪れた場所でたくさんの人と出会い、人の温かさに触れ、貴重な経験となった2週間でした」と語っていたアレクサンドラさん。帰国する日には、見送りに来た人たちと、別れを惜しみ再会を約束しました。

本市からは、中・高校生と引率者の11人が7月27日にアップルトン市へ旅立ち、8月9日には多くの経験をし、成長した生徒たちが帰国しました。



7/21 市長表敬訪問



7/19 観音寺第一高等学校を訪問



7/24 愛媛県大洲市へ
日帰り旅行



7/25 歓迎会・壮行会
出発前に1人ずつ英語で決意



ホストファミリーが
ホームステイの様子を紹介



7/27 絶対忘れないよ、ありがとう！

都市鉱山でつくる！ みんなのメダルプロジェクトに協力を！

2020年東京で開催されるオリンピック・パラリンピック競技大会の金・銀・銅メダル(約5,000個)に、皆さんの家庭で不要になった小型家電に含まれるリサイクル材が活用されることになりました。東京2020組織委員会が主催するこの取り組みに、本市も参加します。小型家電リサイクルにご協力をお願いします。

詳しくは、市ホームページまたはプロジェクトのホームページ(<http://www.toshi-kouzan.jp>)でご確認ください。

回収受付品目

携帯電話、デジタルカメラ、小型ゲーム機等

回収ボックスの配置場所

市役所1階エントランスホール、生活環境課、大野原支所、豊浜支所

問い合わせ先 生活環境課 ☎25-2698

NHK-BSプレミアム こころ旅 2017秋の旅 ここに残る風景とエピソード募集

俳優・火野正平さんが皆さんのお便りをもとに自転車で全国を旅しています。香川県も旅のルートに決定！皆さんのここに残る風景とエピソードを募集します。観音寺の魅力を全国に発信しませんか？

応募方法 郵送またはFAX、番組ホームページから住所、氏名、電話番号、性別、年齢、観音寺市の思い出の場所や風景にまつわるエピソードを番組まで送ってください。

(郵送) 〒150-8001 NHK「こころ旅」係

(FAX) 03-3465-1327

(HP) 「にっぽん縦断 こころ旅」<http://nhk.jp/kokorotabi>

締め切り 9月25日(月)必着

放送予定(香川県) 11月6日(月)～10日(金)

(月～金) 午前7時45分～午前7時59分

(火～金) 午後7時～午後7時29分

問い合わせ先 NHKふれあいセンター

☎0570-066-066

カメラスケッチ

第52回

かんおんじ

銭形まつり



7月15・16日、第52回かんおんじ銭形まつりが開催されました。銭形よさこい2017には、県内外から過去最多の95連が参加し、暑さを吹き飛ばす迫力あるパフォーマンスに、沿道から大きな拍手が送られました。

ことしのメイン会場のハイスタッフホール(観音寺市民会館)では、アマチュアロックバンドの祭典ゼニガタライブや銭Rock、和太鼓演奏、お笑いライブなど、さまざまなイベントが行われ、大勢の人を魅了しました。

また銭形おどりでは、やぐらを囲み、あでやかな青色の浴衣姿の「銭形なでしこ」を手本に、子どもから大人まで懐かしのリズムに合わせて踊りを楽しんでいました。



▼銭形おどり



▲ゼニガタライブ 2017

8/4 ご長寿おめでとうございます

森川夏子さん(作田町)

白川市長が「森川さんは家族の誇り、これからもう元気な長生きしてください」と声をかけると、うれしそうなお顔をみせてくれました。県外で生まれ結婚後慣れない土地で2人の子供を育て、家族に得意の編み物で愛情のこもった服を作っていた森川さん。現在は施設の行事に参加することが楽しみだそうです。



宮武スミコさん(古川町)

「とにかく母はよく働いていた」と家族が話してくるように、若いころから冷凍食品会社で働きながら農作業をし、タバコや野菜を作っていた宮武さん。現在は、2年前に白川市長の百歳訪問を受けた夫の隣さん(102歳)とともに施設で生活しています。ご夫婦でいつまでもお元気で。



7/27 団体優勝目指して頑張ります!

豊浜小学校自転車クラブが、白川市長を表敬訪問し、第52回交通安全子供自転車全国大会に出場することを報告しました。市長は「12年連続30回目の出場おめでとうございます。全国大会では平常心で競技に臨み、実力を十分発揮できるように頑張ってください」と激励。代表児童は「県大会よりいい点数で好成績を残したい」と大会に向けての決意を力強く述べました。



左から 土井優花、山岡昂太郎、上松優利、土井陽菜、出演健祐(敬称略)

8/3 第17回全日本少年少女空手道選手権大会 第25回全国中学生空手道選手権大会



▲第17回全日本少年少女空手道選手権大会/大野原小学校4年=大廣健人、一ノ谷小学校4年=磯野みらい
▲第25回全国中学生空手道選手権大会/大野原中学校3年=久保幹太、藤岡航大、2年=石川晃大、三豊中学校3年=安藤舞香、磯野光、1年=安藤真愛(敬称略、順不同)

8/4 ねんりんピック秋田2017ベタンク交流大会 第32回日本ベタンク選手権大会



▲ねんりんピック秋田2017ベタンク交流大会/りんどうチーム(豊田地区ベタンク同好会)=中井博、横山リウ子、府内明見 ▲第32回日本ベタンク選手権大会/常磐テクノスチーム(常磐地区ベタンク同好会)=岡崎伯光、岡田昭夫、小西真市、高橋憲幸(敬称略、順不同)

8/7 ねんりんピック秋田2017 パークゴルフ交流大会



▲ねんりんピック秋田2017パークゴルフ交流大会/観音寺パークゴルフ協会=黒田尊之、宝田健、石井安一、今村多鶴子(敬称略、順不同)
「コンディションを整えて楽しく自分らしく頑張ります」と笑顔で語る紅一点の今村さん。「パークゴルフ競技で初めて県代表として参加します。協力して好成績を残します」と黒田さんが決意を述べました。

がんおんじタウン情報

7/19 これからも継続して取り組みます

観音寺市社会福祉協議会のフードバンク事業では、賞味期限内の食品の寄付を受け、生活困窮で相談に来た人に、数日分の食品を生活状況に応じて渡しています。この事業の趣旨に賛同した社会福祉法人6保育園(所)が、地域貢献の一環として保護者に食品の寄付を呼びかけ、飲料水や乾麺をはじめ缶詰、レトルト食品、乾物等約400個を同協議会に提供しました。



左から くれよん保育園、ふたば保育園、愛和保育園、中部保育園、作田保育園、高室保育園

7/30 南国ムードいっぱいの会場で夏を満喫!

一宮サマーフェス2017が、一宮海岸であり、大勢の家族連れでにぎわいました。ハワイアン・フラの公演や大量の泡の中で遊べる泡ビーチ、自転車で砂浜を駆け抜ける浜チャリレースなど大盛況。また、手作り水鉄砲を使って5人1組で繰り広げられるウォーターバトルには小学生18チームが参加し、元気いっぱいに駆け回る子どもたちの姿が輝いていました。



8/5 中学生19人が異文化体験

観音寺市中学生海外派遣事業結団式があり、オーストラリアへ出発する生徒19人が「オーストラリアの文化を学びたい」「ホストファミリーと英語でたくさん話したい」など英語で抱負を述べました。研修期間は8日間、ホームステイをしながら現地の小学校での交流授業に参加し、さまざまな体験を通じて語学や異文化を学びます。

7/27 助けてのサインを見逃さないために

社会全体で子どもの健やかな成長と自立を支えようと青少年健全育成講演会があり、観音寺第一高等学校の岡田倫代先生が「SOS伝える術と気づく術」と題して講演しました。「見える問題は同じようでも子ども一人ひとりの特性や環境は異なるため、実態を把握した上で支援する」「日常のひととのつながりから大人もSOSを出せる人を知っておくことが必要」と伝えました。



8/1 スポーツ交流を楽しみにしています

第44回日独スポーツ少年団同時交流で、市内にホームステイするドイツスポーツユースの青少年11人が白川市長を表敬訪問しました。市長からは「充実した滞在になるように体調に気をつけて日本独自の文化を体験してください」と歓迎のあいさつがありました。滞在中には、市内のスポーツ少年団とともに地引網をしたり少林寺拳法を見学したりします。



同交流は、日独両国のスポーツ少年団のリーダーが互いに相手国を訪問し、グループに分かれて各地でホームステイをしながら、スポーツ交流や視察研修を行います。本市での受け入れは、平成19年以来10年ぶりです。

